

平成30年度まちかどミーティング会議録

開催日 平成30年9月5日（水）

地 区 美園町地区

会 場 新生台総合センター

<町内会からの要望>

○司会 それでは、意見交換の時間に移りたいと思います。町内会からの要望に関する意見交換につきましては、これから30分間とし、残りの時間を当日参加者との市政に関する意見交換の時間とさせていただきます。あらかじめお配りしております町内会からの要望事項に従って進めてまいります。初めに、各町内会ごとにそれぞれの要望内容に関して、改めて趣旨説明や補足が必要な場合は説明をお願いいたします。一通り全町内会の説明が終了した後、要望全体を通しての質疑応答を行いますので、進行に御協力をお願いいたします。

それでは、初めに美光町内会さんから提出されました要望は1番と2番となりますが、これについて趣旨説明や補足等はございますでしょうか。

◆市民 いや、いいです。

○司会 よろしいですか。はい。

◆市民 できるだけ速やかに実行に移していただくということをお願いしたいと思います。

○司会 ありがとうございます。それでは、次に日の出三光町内会さんから提出された要望は3番から11番までとなりますが、これについて趣旨説明や補足等はございますでしょうか。

◆市民 特にございませぬ。項目が多いのですけれども、この内容で御回答もいただいておりますので、特にございませぬ。ただ、回答に対するさまざまな御意見は、後ほどいろいろ出るかというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

○司会 ありがとうございます。次に、新明町町内会さんから提出されました要望は12番となりますが、これについて趣旨説明や補足等はございますでしょうか。

◆市民 ありません。

○司会 よろしいですか。はい。続きまして、明野柳町内会さんから提出されました要望は13番から15番までとなりますが、これについて説明や補足等はございますでしょうか。

◆市民 はい。繰返しのお願いになっている部分がありますので、再発防止をどうするかということをもうちょっと加えていただきたいなというふうにお願いをいたします。

○司会 それでは最後に、新開明野元町町内会さんから提出されました要望は16番から20番までとなりますが、これについて説明や補足等はございますでしょうか。よろしいですか。

◆市民 はい。

○司会 ありがとうございます。それでは、質疑に入りたいと思います。これらの要望に対する市の回答について質問がある場合は、挙手の上、マイクをお持ちいただきますので、町内会名とお名前、何番目の要望に関する質問かを述べてから簡潔に発言をお願いいたします。御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

◆市民 日の出三光町内会の■■■■といます。9ページ目の要望番号11番についてです。それで、関連してちょっとお尋ねしたいのはですね、今夜というか、昨日の夜から、さっき市長さんからありました21号の台風で、私どもの町内会で今日の未明、夜中から未明にかけて幌内川沿いの緑地帯に植えてある樹木の中で、数本根元から倒れてしまいました。実は、この緑地帯は、この6月にも木が折れたり枝が飛んでいたの、市の担当に、他の木は大丈夫かということも含めて調査や対策をお願いしました。それがこの要望の番号のところに書いてある中身なのですけれども、その上で、今回、また同じことが起きたということで、4点ばかりそれに関連してお伺いをしたいことがあります。

1つはですね、6月にお願いをしたときにどういうことをやってくれたのか、あるいは、今、やっているのかというのが1点です。

2点目はですね、今回、また、この同じ緑地帯で同じことが起きましたので、そこらについてどういう分析なり原因追究をしているかというのが2点目です。

それから3点目がですね、今回の、先ほど市長さんからも台風で人的被害はなかったと、幸いに。ということのお話がありましたけれども、そこらも含めて車両だとかそういうものにこの被害状況、これらをもし把握していることがあれば、お知らせいただきたい。

具体的には、幌内川のうちの緑地帯で何本ぐらい倒れたのかなど。相当倒れたり横になったりしていたので、今朝、見に行ったら。それで、一部はですね、ごみステーションにも覆いかぶさって、僕もさっき戻ってきて現場を見に行ったら、まだごみステーションに木が覆いかぶさっていて、明日ごみの収集なんかはどうやってやるのかなというのもちょっと心配になっています。

最後、4点目です。全市的に相当な所で、公園だとか街路樹も含めて何らかあったと思いますから、その辺、全市的なことで特徴的なことがあれば、被害に特徴的なことがあればお尋ねをしておきたいと思います。以上です。

○司会 ただ今の質問について、市からの回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長 緑地公園課、成田と申します。今、お話のございました6月の幌内川のナナカマドの枝折れが車道に出ている、まずそういった車道に出ているという枝折れという事象がございまして、その後、6月の下旬に幌内川にございます樹木157本の点検を行いまして、枯れている枝ですとか、同じようなことが起こりませんように、枯れている枝の除去を行いましたことと、あと、幹がちょっと腐ってしま

っているような、病気になっていたものがナナカマド3本ございましたので、6月の下旬にその3本については撤去の方を行ったということを行っております。

一方、今回の台風21号でまた倒木があったということでございますけれども、本数といたしましては、ブンゲストウヒが5本、ナナカマドが2本、合計7本が今回の台風21号の影響によりまして木が倒れたという現象が起こっております。

その原因といたしまして分析いたしますところですがけれども、今回の台風は、ニュース等でも御覧になっていただいていると思うのですがけれども、非常に勢力の強い台風、今期最強の台風と言われていて、非常に風が強かったということ。そして結構ですね、夜10時ごろから非常に14メートル、15メートルという風がどんどん上がってまいりまして、最終的には5日午前1時35分には、風速32.6メートルという相当強い風が最大風速で吹いたところでございます。

ということで、今回、前回の6月に枝折れしたのを踏まえてすぐに対処したのですけれども、その時には枝折れのしやすい枯れているだとか病気の木をまずは手当てしましょうということでやったのですけれども、今回の台風のパワーが余りにも強くて、瞬間だと32メートルという非常に強い風が吹いたということで、元気な木だけを残したのですけれども、その元気な木もその風速に耐え切れずに、今回7本倒木してしまったということでございます。

それにつきまして、午前の2時頃が今回の風のピークであったのですがけれども、その際、夜もパトロールの方も全市出しております、特に前回倒れているこの幌内川については、またそういうことが起こらないかということでパトロールすぐに行きまして、2時半ごろには現地に着きましてその倒木を確認いたしまして、車道等に木があると通勤通学等の支障になりますので、それらについては通学前にですね、倒木の処理を行ったという。その7本については、まずは車道に出ているものは切ってよけてと、通行に支障ない状態にしたということを行っております。私からは以上でございます。

◎危機管理室主幹 防災を担当しております危機管理室の前田と申します。よろしくお願ひします。私からは、後段の2つのお話について御説明したいと思っておりますけれども、まず、今回の車両を含めた被害ということですがけれども、車両についても今回倒木ですとかそういったもので、車両に傷があったというような情報は警察の方からも聞いておりますが、現在その辺の具体的な数字については今集計中でありますので、ちょっと何件かということにつきましては、今現在、持ち合わせてございません。

それから、今回の台風21号の被害に伴います全市的な特徴ですがけれども、今ほど成田の方からも御説明したとおり、今回の台風の傾向というのは、短時間に猛烈な風が吹くという形で、全市的に風が強く吹きました。その結果、建物についてはトタン屋根ですとかそういったものが、これは、全市的に飛びました。あるいは、壁、塀、こういったものも飛んだ、あるいは看板そういったものも飛んだという。これ

は全市的にそういったようなトタンですとか、そういったものが飛んだという傾向がございます。それと街路樹、樹木関係ですね、こういったものにつきましても、倒木ですとか枝折れ、こういったものについても、植苗から樽前まで全市的に被害があったという傾向がございます。以上です。

- ◆市民 もう一回いいですか。すみません、もう一回ちょっとだけお願いします。この9ページの11番にですね、市からの回答が、6月下旬に枝折れや倒木のおそれのある樹木について調査を行い、危険木の伐採と枝の剪定って行っていますということが6月にやられて、またこの9月に同じ場所で同じことが起きたという。それでこの調査とかいろいろやっていただいているのはやっていただいているのでしょうかけれども、今、課長さんからも話があった、パトロールも夜中やって、それと迅速な処理もしていただいたということで、確かにチェーンソーできちっとやって、通行に邪魔にならないようにやっていただきました。その点については本当にありがたいなと思っています。夜中かけて本当にありがたい、御苦労さまでしたということなのですけれども、同じことが、想定外の風とはいえ、同じことが起きているというのは、調査そのものがどういう調査をやっているのかなとか。聞くと目視ぐらいしかないので。だから、何かその辺、また同じとか、たまたま夜中だったからよかったけれども、子供たちが学校へ行く、あるいは車で通勤の動きが出た頃になってくると、ちょっといろいろ心配だなと思うので、同じことが起きたということで、何か対策とか、もっとしっかりとか、やれることはないのかなと、こんな気がしましたので、もう一回お願いします。

- ◎緑地公園課長 ちょっとまた同じような回答になってしまうかもしれないのですけれども、まず今御指摘いただきましたとおり、調査をじゃどうやってやったのかということに関しましては、目視によりまして、枯れている枝ですとか傷のある状態の木がないか、又は木に腐食等がないかということで、造園業者さんとともにですね、全本数157本について見て、安全確認とか、処置しなければいけない木なのかどうかということで、目視によって点検をしたということで今回対応させていただいております。

さらに、もっと精度のいい何かないのかなということでの御指摘とか御意見だと思っておりますけれども、なかなかですね、樹木を、何かもっと倒れやすい倒れにくい木ということでの診断というのも非常に実は難しくてですね、その木の状態、風の向きだとか、木も一本一本種類も違えばある場所も違うし、同じ種類の木でもちょっと配置が違えば、こっちは倒れているけれどもこっちは倒れていない、同じ健康な木なのにこっちは倒れるということもありますし、なかなか自然現象の台風風の風というものを予測しながら、将来倒れる木を推定していくというのは、非常にもう、ほぼ無理な話になってまいりますので、ちょっと繰り返しになって同じようなことと怒られそうですけれども、まずは目視によってですね、事前に危ないように

な木があれば処置していきますし、また、今回のような更に強い風の台風が来ることもあるかもしれませんので、その際には素早く対処するという事で、パトロールもしっかりやるということで行ってまいりますので、御理解のほどをお願いいたします。

◆市民 夜中かけてありがとうございました。またよろしく申し上げます。

○司会 それでは、他にどなたか質問ありますでしょうか。

◆市民 ただ今の樹木と倒木の関係ですけれども、6月もそうですし、今回もそうですけれども、その樹木が並んでいる横が道路になっています。たまたまその2回、6月、今回も含めて人的また物的な被害がなかったことが幸いなのですから、子供たちの通学路にもなっていますし、車両数も朝夕は増えております。そして、また、高校生等が自転車で通学して幌内川を渡る、人道橋を渡るという、そういった場所でもございますので、そのことを念頭に置きながらですね、ぜひ倒木を、ないのが一番なのですから、よりよく点検をいただくように要望させていただきます。決してこれは私ども日の出三光だけの問題ではなくて、あちこちに学校林やら街路樹等々がございますから、やはり、それで人の命、また人的被害、物的被害、こういったものを起こさないようにするのは、ある意味では行政の責任かというふうに思いますので、是非、よろしくをお願いいたします。御回答は要りません。

○司会 それでは、他に御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 明野柳町内会の[]ですけれども、まず、今までお世話になった道路維持課、それから緑地公園課とか清掃事業課、それから環境生活課の衛生係の方には、大変今までお世話になりまして、町内会の要望に対しての適切な対応をいただいております。感謝申し上げます。

ところで、13のドット線についてのちょっと要望なのですから、確認なのですから、一応、町内会のドット線も今回2か所やっていただきました。ですから、町内の柳町と明野と調べてみましたが、実際に一時停止線とか、あるいはドット線を調べますと、かなり消えているところが多くて。それで、やはりこの2か所だけでも早く引いてほしいという要望のつもりで出しております。ですから、何か予算等がやはり間に合わないのかなというふうに僕も感じて、なかなかうちの所は広いので、そして、数もありますので、やはりもうちょっと数を増やしてですね、ドット線でも一時停止線でも、もうちょっとお願いしたいというのが僕らの要望で。やはり町内会も安心・安全ということで、市の方もね、子供たちも老人の方も安心して歩けるようなね、状況を作ってほしいと。また、事故がこの頃多いものですから、個人的に注意すればいいのではないかというふうにあるかもしれないのですけれども、でも、やはりそういう線とかドット線でもきちっとしていただくことによって、我々も安心して歩けるし、車に乗って歩けるということを含めれば、やっぱりもう少し予算等が僕から見ると足りないのではないかなと思うので

すけれども、どうでしょうかね。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎道路維持課副主幹 皆さん、おぼんでございます。私、道路維持課道路管理事務所の小田と申します。よろしくをお願いいたします。今年もいろいろ様には町内のドット線ですとか、いろいろ安全施設の調査をしていただきまして、大変助かっております。どうもありがとうございます。

それで、今、御提案いただきましたドット線ですとか、そういった私ども道路管理者が交通安全対策として引けます区画線。センターラインですとか外側線、あとは今おっしゃっていましたドット線。こういったものについては警察さんと協議もさせていただきながら必要な箇所を、今おっしゃっていたように消えたところだとかを、どちらかというと優先的に。あとは、事故が多い所ですとか、こういった所につきましても、町内会さんの御意見をいただきながら進めているところではございますけれども、何せ苦小牧市内、市道が約1,000キロございまして、いろいろな所でこういった安全施設というのは御要望いただいておりますものですから、そういったところを優先順位を決めまして、できる所から対応させていただいているということで、何とぞ御理解いただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆市民 小田さん、そこにおられますので、ちょっともう一つ。僕らドット線でも一旦停止でもセンターラインでも、やはり何年か越しには、常時使っているというか通っているところは消えるのですよね。それを計画的にですね、やっぱり消えて何年も過ぎてそこで大事故が起きたとか、それからいろいろなことが起きることを避けるためにも、そういうのは何年か越しに、除雪でもそうですけれども、除雪でラインを消してしまったりそういうことはありますので。やっぱり消えているところを優先に少しでも、町内会ちょっと僕らのところが大きいのでやっぱり数もありますので、その辺をちょっと、優先といたら他の方も優先という順位もありますけれども、僕らも目をかけていただきたいというのが僕らの要望でございます。よろしくお願い申し上げます。

予算等も何か足りないのではないかなという僕らの予想なのですけれども、足りていますと言えばそれで。やはり、毎年そうやって更新していかなければならないみたいなのがありますので、もうちょっと増やしていただければというのが、代弁すれば要望でございます。

◎都市建設部長 都市建設部長をしております栗野と申します。いつも大変お世話になっております。今、ドット線のお話がございましたけれども、たくさんこういったところが消えているということで、具体的な箇所を事前に御指摘をいただきましてありがとうございます。

予算がないからできないみたいな話でございますけれども、そうならないように

ですね、ある予算の中でこういった形でできるだけ意に沿えるかということですね、我々も極力皆さんの意に沿うような形で、御要望に応えられるように努めてまいりたいと思いますので、今後とも御理解をよろしくお願いいたします。

◆市民 明野町内会 [] です。今のドット線の話ね、ちょっと予算とかなんかもあるかもしれないけれども、話がちょっと違うのですよね。警察と折り合いを付けながら進めるということでやっているらしいのだけれども、なかなか警察はいい顔をしないと。できたらやめてほしいというのが警察の姿勢で、その警察との折り合いがなかなかつかないことも進まない理由の一つだと、私は担当者から直接聞いたことがあります。その辺どうなのでしょう。

◎道路維持課副主幹 道路管理事務所の小田です。今、申しましたドット線なのですが、これ先ほど申しましたように、法定外ですね、法律の定める外の標示、道路標示ということになっていまして、例えば一時停止の線ですとか、そういったものとちょっと性質が違います。どちらかというと、少しは道路管理者の思いが少しかけられるようなものでございますので。最近警察さんもですね、その辺り、市の思いをある程度酌んでいただけるようになっておりますので。まあ、と言っても全て必要なところは一気にはできませんけれども、できるところから取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆市民 よろしくお願ひします。

○司会 よろしいでしょうか。はい。それでは、次に進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

◆市民 はい、いいよ。

○司会 ありがとうございます。

<当日参加者との意見交換>

○司会 それでは次に、当日参加者との市政に関する意見交換の時間に移りたいと思います。多くの方に御発言をいただけるよう、発言は簡潔にお一人1件ずつお願いをいたします。残りの時間に余裕がございましたら、改めてお伺いをしますので、よろしくお願ひをいたします。なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、本日、市の担当者が多数来ておりますので、まちかどミーティング終了後に直接お話ししていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

本日のまちかどミーティングは、美光町内会、日の出三光町内会、新明町町内会、明野柳町内会、新開明野元町町内会にお住まいの方を優先させていただきますので御了承をいただきたいと思ひます。それでは、市政に関して日頃お気付きの点や御意見のある方は挙手をお願ひいたします。どなたか御意見や御質問はございますでしょうか。

◆市民 新開明野元町町内会の [] と申します。私はこの要望事項にまた戻っちゃうの

ですけれども、信号機の設置について、3年連続、今回で4年目の主張になるのではないかと記憶をしておりますけれども。前回、担当の課長さんがおいでいただいて、大変親切丁寧な御説明をいただきまして、ぶっちゃけた言い方すれば丸め込まれたという感じで終わっちゃったのですけれども。まあ、ある程度の話としては分かりますけれども、納得は全くしておりません。相変わらず切実な問題ですので、引き続き切に要求を続けていきたいと思えます。

それに関連しまして、今ドット線のお話が出てまいりましたけれども、その信号機の町の中に入っちゃうと、このドット線が消えている部分がたくさんあります。そこで、私は非常に納得できない点は、信号機の設置というのは予算も莫大にかかりますから、これは理解できないではないのですけれども、この一時停止の看板、これは町内会で金持っても立てさせてくれないのかというような意向が非常にしてなりません。これもおいでいただいた課長さんの説明によると、公安部の方の担当ということですので、なかなか難しいのだという話は聞きましたけれども。つい今年になってもう現実に事故が起きまして、信号機の所でないです、大きな所でなくて、町の脇に入ったところですよ。実際事故が起きまして、救命救急作業をやっている、要するに胸の指圧ですね、これを行っている現場を私見ました。ということが現実に起きておりますし、私の手前勝手なことを言えば、近くにアパートが結構多いものですから、やはりアパートの人方はいろいろな人がいて、若い人は全く交差点を無視して一時停止しないで突っ走るのですよ。そういう傾向を何度も見ているのです、正直言って。そういうことなので、何でこの看板が立てられないのか。これは本当に人間として、人間の言うならば尊厳として許されない、そういう感じさえしております。何か処置がないものか。全く部署も私は分かりませんが、例えば市条例でそういうものの設置が認められるような方向性も考えられないのかと、そういうのをつくづく思っております。

一つというのですけれども、もう一つどうしても言わせていただきたいことがあります、ごみステーションの件です。これは私たちの町内会だけでなく、全市的な問題だと思えます。とにかくひどい状況です。何とかしてもらいたいと思えますし、それで私たちの提案として、市の方からオーナーに対して説得するというような、そういう方向性を提案したいのですけれども、おそろくなかなかそれではうまく進まないと思うのです。とにかく皆さん一度、多分御覧になったことがあるかと思えますけれども、御覧になってください、もう大変な悲惨な状況です。臭いし汚いし、もう入り切らないと。だから、悪の循環がもう大変見るに見かねる状況です。そういうことで、一つ御提案というか申し上げたいのですけれども、いろいろごみ対策について、こうしてください、ああしてください、こういうことで決めてやってくださいという話は聞くのですけれども、それをやって何がメリットあるのかという。その、地域住民に対して、こういう説明があまり私、記憶ないのですね。

これをやると、こういうことがあるから皆さん協力してくださいと。もちろんきれいになりますよ、においがなくなりますよというのはそうなのですが、実際にこれを皆さん方は従順に従ってくれれば、市の予算もそれぞれの方で余ってくると。その分を福利厚生の方に回せるのですよとかというような話があれば、またそれも一つの方法だと思うのです。まず、どういうメリットがあるのか、地域の皆さん方に。これを強力に推進にお手伝いするについてですよ。そういうことも含めて御説明いただければと思うのです。以上です。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 市民生活部長をしております片原と申します。交通安全対策の所管をしておりますので、まず、冒頭の方の質問に私の方からお答えさせていただきますけれども。かねてから御要望いただいた明野元町の交差点の問題、それから、ただ今、御提起いただきました住宅街の交通規制の問題。回答も繰り返しになって大変申し訳ないのですが、公安委員会の方で設定したその信号機ですとか規制についてはですね、これは例えば看板というか、標識が薄くなって見えづらくなった部分の更新についても、実はこれも公安委員会の方で地区から要望が上がってきたものをですね、その委員会の方でいろいろ判断して更新なりをするという流れになっていましてですね、なかなか市から直接上げて、そこに要望に応じていただけないという現況があります。

そういった中で、先ほどいろいろお話がありましたドット線ですとか、市の裁量で実施できる安全対策については、速やかに対応していきたいと思っておりますし、例えば交通標識で規制がかかっているところの標識が見えづらいといった場合に、それを補完できるような、例えばここは40キロ規制ですというような分かりやすい看板を市の裁量で立てれるものを付近に立てるとかですね、いろいろな現地確認しながら、効果的になるかどうかはちょっとまた検証は必要だと思いますけれども、そういった対応は是非させていただきたいというふうに思いますので。今、御指摘いただいた例えば事故があった場所等も含めてですね、どういった対策が可能かということをちょっと現場を確認しながら、さまざまちょっと対策を考えてみたいと思いますので、まずは一度その現場も含めてですね、改めてちょっと協議させていただきたいというふうに思います。

ごみについては、環境衛生部でお願いします。

◎ゼロごみ推進課副主幹 おばんでございます。ゼロごみ推進課の瀧上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。共同住宅のごみステーションにつきましては、基本的にはオーナー又は管理会社が管理をすることになっております。その中で不適正排出があった場合には、収集できない旨のステッカーを張って行ってですね、排出者への適正な排出を行うよう促しているところでございます。一定期間、経過後もそのまま放置されているときには、清掃指導員により開封調査を行いまして、排出

者の特定に努めております。また、共同住宅管理者と市で違反ごみの立ち会い調査を行っておりますので、管理者からも入居者への指導、啓発をしてもらっているところです。今後もオーナーさんや管理会社さんと連携しながら、ごみの排出マナー向上に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎**環境衛生部長** 環境衛生部長をしております椿と申します。今、■■■■様の方から、地域住民に対してメリットが見えないというお話を頂戴いたしました。私どもの苫小牧の町はですね、皆様の御協力のおかげで分別の徹底ですとか、あるいはリサイクルについてさまざま御協力いただく中で、特にリサイクル率なんかにつきましては、全道の中で本当にずっとトップを守っているような状況でございます。このことは、今、沼ノ端に1か所クリーンセンターということでごみを燃やしておりますけれども、以前は糸井の清掃センターと2か所でやっておりましたけれども、皆様の御協力のおかげでですね、今は沼ノ端1か所に対応できるようになっております。これにつきましては、非常に大きな経費の節減ができますし、今後につきましても、この沼ノ端の今の炉を長持ちさせる、あるいは出てきたごみの焼却灰ですね。これがどンドンごみで捨てられると、あっという間にいっぱいになってしまいますので、これらを長持ちさせることによって、非常に苫小牧全体としては、大きな財政の節約ができることとなります。ということは、そこで浮かしたお金につきましては、もちろん地域住民の皆さん、具体的に個別にここに何が建つということはございませんけれども、最終的には苫小牧市全体の利益になるというふうな御理解をしていただければ幸いです。以上でございます。

○**司会** よろしいでしょうか。それでは、他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。

◆**市民** 今の関連でちょっといいですか。

○**司会** はい、どうぞ。

◆**市民** すみません、一人1回だと言われましたけれども、ついついまた出ました日の出三光町の■■■■です。私も町内会で■■■■をやっております、もう十何年やっておりますけれども、最初、僕は■■■■になったときに、集合住宅付近で特にごみステーションのマナーが悪くてですね、大変苦労しました。その時に、どうしたらいいだろうかなと。看板も付けました、チラシも配りました、変なところがあれば写真を写してきて、みんなで気を付けようといういろいろやったのですけれども。それでね、最近やったのは、市のゼロごみ推進課の指導員さん、本当によくやっている。僕は指導員さんにいつも言うのだけれども、指導員さんに来てもらって、僕も町内会の役員という立場に入って、大家さんも来てもらって、3者で現地現物でこのごみステーションこんなになっているけれども、市も頑張る、指導員さんも頑張るけれども、町内会も一生懸命やる。あなた大家さんももう一役買って、みんなできれいにしようやということをつ一つ、一軒一軒、一つ一つやってきたら大分よくなった。それで、一回きれいになったら、もうなかなか汚れないのですよね。だから、

そういうことで、やっぱり3者で知恵を出して一緒に働くというか行動することが、**■**さん、よくなると思いますから、**■**さんからも拍手出ましたので。市の指導員さんは本当に一生懸命やってもらっています。部長からもぜひ褒めてやってもらいたいと思います。市長さん、すみません、終わります。あっ質問にならなかった。

○司会 貴重な御意見をありがとうございました。

他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。御質問や御意見等ございましたらお伺いいたしますが、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 美光町内会の**■**と申します。本日はどうも市の関係者の皆さん、たくさん詳しい説明いただきまして、本当にありがとうございます。

町内会の要望とか、その中では特に発言してないことなのです。町内会としては先ほどの会長の方から話がありました、何でしたかね、港まつりの踊りですよ。それと少しは関係するけれども、一般的にこういうミーティングになるとどうしても生活環境というか、そういうインフラのことが多くて、大体、私もここに家を建ててから16年、本当に生活しやすい場所、もともと雪も少ないですし、道路も広くて交通が楽です。それから、店もたくさんあって経済的にも安いですね。札幌辺りよりずっと安くて、生活するには非常に優れた場所だなど。ただ、ちょっとだけ残念なのはなというのは、別な文化面といいますか、例えば親戚だとか友達が来たときにどこへ連れて行けばいいのか。まだ、ちょっと話してもいいですね、時間ありますものね。樽前山に連れて行くのはちょっときついと思う。そして、前は、じゃあ、港だから港の方へ市場があるから連れて行こうか、でも、あそこへ行ってもそんなに見るところはないし、あとはウトナイ湖ですね。あそこに白鳥が来る、ちょっとした公園、あそこぐらいがいいかなど。でも、最近少し充実してきました。ただ、もうちょっと残念なのは文化的な面です。ちょっとこれ私の私見で皆さん方どう思うかちょっと分かりませんが、例えば音楽会、コンサートがある、あるいは演劇がある、演歌四人娘は来ないでしょうけれども、もし来たときにですね、あそこの市民会館でやったんじゃちょっとなど。ただそこで、この中で市の構想として新しく市民ホールを作りますよと。そのことでちょっとこれ私の個人的な見解なのですけれども、そのときのホールですね。もうちょっと文化的な面です。例えばオーケストラなんか来たときに、そこへ結構高い値段払って入るのですけれども、いい音だったなど。私も仕事柄、全道を歩いているものですから、あちこち音楽会があると行きます。そして、例えばウィーンフィルが来たら東京へ行きます、聴きに行きます。それから、都はるみが来たとき、そして小樽へ行きます。結構いい音なんです。ところが残念ながら苫小牧のホール、現状はちょっと音が、いろいろなオーケストラが来てもどうか。それで、今度ホールを作るということですので期待しているのですけれども、やっぱりそういう

ある面では音響面ですね、専門の方が立ち会うと思いますけれども。ただお客さんをたくさん入れればいいのではないのですよ。できるだけ舞台装置とか、特に私が気になるのはもともと音響関係なのですけれども、その反響音をどういうふうにするかと。そういうことを専門家にお願いして、もう既に行われていると思いますが、少なくとも誰か、是非、苫小牧に来て一緒に聞きに行きましょうと。コンサートへ行く、その時に、ここで聞いたらいい音だなと。それがちょっとさびしいなと思う。いろいろなインフラの面では優れて、物も安いし生活するには何にも言うことはない。ところが、ちょっとその文化的な面で見るところだとか、これはどこかに新たに港を作るとかそういうことはできませんから、できる話をします。いわゆる箱物でそういうのを作るときにちょっと音響効果とかそういうのを。昨日もやっていましたね、NHKですか、新しいホールをつくるということで、観客席と舞台の面積の配置がもう今は変わっちゃって、観客が大事じゃなくて、そっち側の方の音を出す方、そっち側の方をいろいろな仕掛けがあって、反響板だとか何かするのですね。そういうのをちょっと考えてやると。私もちょっと勝手なことを言いますと、釧路にいたときにわざわざ札幌までビバルディーのイ・ムジチを聞きに行ったのですよね。そのときに帰ってきて、あれ、うちで聞いた音の方がずっといいなって、そういうこともあるのですね、会場によっては。だから、せっかく苫小牧に新しいホールを作るのでしたら、そういう文化系の音響だとかそういう専門家のちょっといろいろあっちこっち知っている人、私もあっちこっち歩いて聞いているのですけれども、そういう人の意見を聞きながら、テストしながら作っていただけたら誇りになるなど。そしたら、新しい人が来たときに、苫小牧にぜひいらっしゃい、ここで四人姫が歌いますよとか、いろいろなジャズでも何でもいいのですけれども、そういうのをそれ一つの要望として、勝手なことですけれども、失礼します。

◎市民生活部長 市民ホールを担当しております市民生活部長の片原と申します。

今回計画をしております市民ホールにつきましては、これまで公共施設を建てる時にいろいろ計画を立てて建ててきたものもありますけれども、このプロセスとして非常に重要視しているのが、市民の皆さんからいろいろな意見を聞くということで、今、計画までは作りましたけれども、これまで3年間かけています。1年目は構想で、2年目、3年目は計画ということで。その中で構想を立てる段階から、いわゆる市民の方から募ったプロジェクトチームも作っていろいろな意見を聞いてやっています。その中に音響装置の専門家ですとか、これまでホールを運営してきた方ですとか、あるいは興行をされてきた方、そういった方がメンバーになっているいろいろな思いで構想を作りました。更に2年目以降、市民の方からこんなホールでこんなことをやりたいという意見をさまざまいただきまして、これ64ものいろいろな御意見をいただいて、それを取りまとめました。

今後、このいろいろな構想、あるいは計画を具体化していく流れになっていきま

すけれども、その中で、またこれまでの流れと違うのはですね、今度、民間のそういうホールを建てた事業者さんですとか、公共が公共の財で建てるのではなくて、民間の考え方をに入れて建てるということもですね、今さまざま検討しています。その中にホールを手がけた事業者さんも含めていろいろな意見をいただくことになっていますので。まあ、これまでの市民会館も文化的には財産の価値としては非常に大きな建物ですので、有名なコンサートですとか、それから演奏者の方も来られていまして、今の市民会館も十分非常に評価の高い部分であるのですけれども、そういった財産も生かしながら、広く意見を聞きながら新しいホールを作っていきますので、またいろいろな場面で市民の方からもいろいろな意見を聞いて作っていきたいと思いますので、その際にはまた御意見をいただけたらと思いますので、よろしくお願いたします。

○司会 それでは、他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 ちょっと代弁させていただくことになるのですけれども、うちのごみ収集、ごみの関係なのですけれども。収集車が親心でうちの町内会の人なのですけれども、収集のときに若い人が乗っていて、降りては走ってあるくのですよね。それがどうも気になる。走って悪いというのではなくて、やはりどこかごみステーションで不法投棄しているとか何かあって、そっちの方に時間がかかってね、走らざるを得ないのかなというふうに予測はしているのですけれども。でも、何か時間内にやらなきゃならないということなのか、人が少ないのかちょっと分かりませんが、どうも走っているのがちょっとかわいそうだといううちの町内会の人がいるから、ちょっと言っておいてくれと言われて、今それでどうしようかなと思っていたのですけれども。何か一生懸命やっているの、若い人が走っているの、汗かきやっているの、ちょっと頑張るねって、御苦労さんって声はかけているのですけれども。何か他の人が、いやかわいそうだって。親心でかわいそうだなという言い方をされて、ちょっと言っておいてくれやと言われてたものですから、あえてどういう状況でどうなっているかわかりませんが、まあ、本当に何か頑張っている姿はもう本当に頑張っているなと思うのですけれども、何か走って歩いて、もう次から次出して、次乗っける、次入ったらばっと乗ってすぐ、何かそういう時間的に余裕がないのかなというふうに思っちゃって。その辺、ちょっと親心でそういうふうに見ている人もたくさんおまして、走って歩いているのでちょっと気の毒だなというのがあります。僕らの自分のところのごみステーションはやっぱり不法投棄というか、いろいろ混ぜてあるやつは何か所か見ては自分で分別してやっていますけれども、やっぱり他のところもたくさんそういうところがありますので、その辺ちょっと僕らは分かりませんが、そういう収集している人がやっぱり苦労しているなというのが、ちょっとここで言いたいなというのがありますので、そういうことでございます。すみません、どうも。

◎**ゼロごみ推進課長** 環境衛生部ゼロごみ推進課長の小泉と申します。よろしくお願いいたします。

ただ今の収集作業員さんの走っているという御意見ですけれども、一つにはステーションの間隔が狭くなっている、近くなっているという現状があるかと思えます。ただ、我々、収集業者さんとも協議と申しますか、話し合いの場を持っておりますけれども、その際には、危険なども伴いますので、収集作業につきましては極力走らずに収集をお願いしたいということによっております。今後もそのことにつきましては継続して話をしていきたいと考えております。貴重な御意見ありがとうございます。温かい御意見ありがとうございます。以上でございます。

◎**市長** 今、市内にステーション数何か所あるの。

◎**ゼロごみ推進課長** 8, 800ほどございます。共同住宅も含めて8, 800ほどございます。

○**司会** よろしいでしょうか。

◆**市民** ちょっと納得できないというのは、走らないようにということによって、ということでは済まないのではないかなと思うのですよね。なぜかといったら、無理かかっているのではないかなという言い方というか考え方を僕らちょっと持っていたものだから。その、走らないようにという言い方で言ってしまうと、頭ごなしに僕らは聞こえるのですよね。どうなのでしょう。

◎**ゼロごみ推進課長** まず、収集作業員さんに対する温かい御意見というところで大変ありがたいと思っております。収集作業員さんは、時間内に収集を終わらせなければというところから走っているという現状もあるというふうに把握はしておりますけれども、市内に9社収集業者さんはありますけれども、その収集業者さんによっても状態が違うのかなというところもありますけれども、特に今日いただいた御意見をその地区の収集業者にも伝えていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○**司会** よろしいですか。はい。

それでは、他にどなたかいらっしゃいますか。

◆**市民** 明野新町に住んでおります[]と申します。

町内会の役員をやっているわけではないのですが、市政全般の御意見ということで、1点しか駄目ということなので、ちょっと3つぐらい考えていたのですが、1つは、今、市の方でこれからのまちづくりということでスライドを見せていただいて、要するに苦小牧は人間環境都市宣言をやっている、そういう街だと。それに沿ったまちづくりということからいくとね、岩倉市長さんは、いわゆるIRと申しますか、カジノに非常に積極的に、私から言えば前のめりになっておられるのですが、人間環境都市宣言で言われていることとカジノといえれば全く相反することではないかなというふうに私は思うのです。

少子高齢化というかね、そういうことは全国的な問題で、市政だけで解決できるとは思わないのですけれども。私は全国的にも子供を育てるためにいろいろな施策はされているのですけれども、実は私が子育てした頃から見ますと、自分の子供たちが今子育てしている状況を見まして一番やっぱり大変だと思うのは医療費なのです。私のところの孫は特別ちょっといろいろな病気を持っていますからね、そういうせいもあるのかもしれませんが。ちょっとすればすぐ病気になって医者にかかる。就学前までは、いわゆる初診料といいますか、それだけであとは全部無料であったのですけれども、入学した途端に3割負担になると。1回行けば5,000円とか6,000円とか、そういった自己負担が出てくるということで、これは本当に大変だなというふうに思うのですよね。いろいろな全国的な状況を見ましても、就学前だけの無料というのは、これ確か、道なり国の施策であって、市の施策としてはもっともっとやっぱり今の人間環境都市宣言の、あるいは少子高齢化ということを考えますと、そういった子育てに対するやっぱり市政の援助といいますか、それをしないと根本的な解決に私はならないのではないかと。カジノを持ってきたから街が発展して人間環境都市宣言のまちになるなんていうことは、私はもう相反することだというふうに思っていますので、特に今1点ということなので、その医療費の問題を市としてはどういうふうに考えておられるのかということを知りたいと思います。

◎市長 IR、統合型リゾートについてどの程度知識があるのか分かりませんが、今、描いている多分カジノのイメージのような施設を持ってくるというのであれば、僕も反対します。是非、正確な統合型リゾートの中身をですね、我々もまだ周知不足で、これからもまだ周知のための活動をしていきますけれども、そこを是非、御理解いただきたいというのが1点。

もう一つは、もうこの国には公営ギャンブルがあります。あるいはパチンコは遊戯という設定でありますけれども。しかし、ギャンブル依存症の7割がパチンコという現実があって、何にも政治の場で問題にならなかった。なぜか。これは法律がなかったからであります。今回ギャンブル依存症対策法案もできました。あるいはIR法案もできました。そういう意味で初めて規制法案ができたということで、普通の国になったというふうに考えています。

私も人間環境都市、目指すべき都市像、先ほど説明がありました新総合計画にも設定してありますので、おっしゃるとおり人間環境、これは自然環境だけではなくて、家庭環境も含めて今の時代に合った人間環境都市を目指すべき都市像として我々チャレンジしてまいります。しかし、そのためには、例えば医療費の問題にせよ子育て支援にせよ必ず費用がかかります。今、限られた財布でありますから、新たに何か付けようと思ったら何かを削らなければいけない。スクラップ・アンド・ビルドを繰り返していかなければなりません。そういう意味で、市民の皆さんの優

先順位というものを議会質疑等々で聞きながらですね、優先順位を決めて予算を付けているということになります。

冒頭、言いました。人口は減る。そのことによって市の財政のパイが小さくなる。しかし、それだけではじり貧になる。したがって、我々は逆にですね、議会でも発信していますが、単に歳出、どれを増やすかという議論だけではなくて、どうやって税収を増やすかということを経営的には考えていかないとじり貧になるという考え方でですね、税収あるいは税外収入をどのように増やすかということにずっとチャレンジしてもう五、六年になります。そういうことをやって初めて市民の皆さんの要望にお応えすることができる。医療費、例えば一つの年代の医療費をやるのに何億かかります。そういう意味でですね、できるだけ今こういう時代ですから、若い人が特に年金も含めて自分の将来に何となくイメージできない。そういうことを打破するために我々少しでも助成制度を充実させてですね、安心して子育てができる、安心して子供が作れる、そういう街をつくっていきたいというふうにも考えておきまして、そういう意味では考え方は違わないと思いますけれども、しかし財布は限られているということでもありますので、そこで苦悩しながらですね、今、いろいろ市の施策展開をしているというふうに御理解いただきたいと思います。

IRについてはですね、ぜひ正確な。もう既にアジアにもシンガポールにはありますので、正確な情報を我々しっかり市民の皆さんにお伝えしていきたいというふうに考えておりますので、御理解をいただきたいと思います。

○司会 そちらの女性の方。

◆市民 明野新町2丁目に住んでおります[REDACTED]といます。

それこそ自然がすばらしくて、苫小牧は冬はちょっと雪が少ないし、夏は涼しいし、災害からもちょっと抜けている穴場のいいところだなというふうに思っているものですから。それでも、パチンコの町とは言われたくない。この依存症というのは、もうすごいそういうものがあるのに、私は昔からこれは問題にしております。このことにつきましては、カジノのことにつきましては、後ほどまたミーティングがありますので、そこで私も意見がありますから、是非、反映させたいというふうに思っております。

ただ、私は子供たちが学校に入ってから、あれしちゃ駄目これしちゃ駄目、そうやったらけがするよ、それから修学旅行に行くときにも保険証をずっと持っていられないような環境の子供たちもいるという、ここが今ちょっとやっぱり嘆かわしいところなのですよね。苫小牧は昔から若いシングルマザーでも苫小牧に来て子育てをしたいというぐらいのね、札幌から流れてくるような住民もいたぐらいの時代があった。私そのことも覚えておりますのでね、若いママたちが寄ってくるような、そういう苫小牧市にしたいなというふうに思っています。だから、せめて小学校の6年生までは、学校でちょっとけがした、ほい、ずっと養護の先生が病院にそのま

ま連れていけるという体制を作りたいものだなというのは私の夢です。市長さん、よろしくお願ひしたいと思うのです。

私は、明野新町2丁目に住んでいるのですけれども、苫小牧、本当にさっき言ったように住みやすい。なぜ私はここの苫小牧から離れないか。もう離れてもいい環境なのですけれども、境遇なのですけれども、いるのです。というのは、やっぱり住みやすいというさっき言った条件もあるし、自然もやっぱりすばらしい、この自然は壊したくない。だけれども苫小牧、私がこれから、もう年齢からいったら車も離さなきゃならない時代なのですけれども、交通の便がちょっとよくないなというのは、明野新町に住んでいるとバスが何本かしか来ない。この日の出町の方から乗るバスしかないのですよ。向こうの駒澤の方から乗るとね、結構本数があるし、市民斎場のところにも結構本数があるのですけれども。私の住んでいるところは、かなり2時間に1回くらいしか来ないとかね、それだって冬場のあの寒いときに野放しに待っているのも大変だという、そういう状況があるのでね、もう少し交通が便利になってくれると、私ももう車を離してバスを利用するようなまちづくりになっていければなというふうに思うのです。いっぱいありますけれども、とりあえずここまで。すみませんでした。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎交通政策主幹 交通政策を担当していますまちづくり推進課の工藤と申します。

東側の方で、これまで西側の方が、以前は市営バスが通っていたところはバスの便は西側の方がかなり多かったです。最近、東側の方に居住が多くなりまして、バスの便数ですとか路線の延長も東側の方にかなり伸びてきてはいるのですよ。ただ、国道側と、それとバイパス側といいますか北側と、それと明野新町の辺り、真ん中の方、中を通っているバスとあるのですけれども、どちらかという国道側の方については市営バスのところよりも、現在は千歳線も含めて便数的にはある程度確保されているのですけれども、もともとの路線バスについては、どちらかという国道側よりはバイパス側の方が便数が多かったような状況でございます。ただ、今後はですね、利用者の数ですとかそういうものを含めて、道南バスさんの方とは状況を見ながらいろいろな路線の引き方も含めてですね、お話をさせていただきたいと思っておりますけれども。いずれにしましても、バスの路線については以前よりは東側の方もかなり便数的には増えてきている状況にあるということで、今後のまた推移を見ながら対応させていただきたいと思っておりますので、事業者さんの方とも話をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○司会 他に。では、前の方。

◆市民 明野新町の■■■■と申します。御苦労さまでございます。

先ほどIRのところでもちょっと若干触れたのだけれども、IRについて。これ、アメリカ主導型でさ、何で日本にこんなの作るのだから、私に言わせたら。外資系の

資本に今2社入る予定でいるけれども、外資系の資本というのはもうからなかったらすぐ撤退するし、これに乗かってやったらえらい話になるのだよね、実際的にはさ。そこはもう少しいろいろなことを検討してやってください、市長、よろしく頼みます。

私、今年金生活でアルバイトしながら、年金生活では食えません。本当に毎年毎年下がってきて、今もう最低限って、家内ももらってそれでやっところ。自分のうち持って、うちは建てただけけれども、税金は当たり前に来るのだけれども、大変ですよ、今。物は上がっているし、ガソリンも上がったたり下がったりして、私の血圧と同じでさ、本当に大変な時代です、今、年金生活をやるのは。だから、これやっぱりそのIRをどういうふうに利用して、市にどれだけ財政入るか、そこらをもうちよっと市民にはっきり回答しなかったら、何でもかんでもいろいろな依存症あるから、スマホもあるしパチンコもあるし、IRを聞けばまたいろいろなものあると思いますよ。そこらもうちよっと検討してやってください。よろしく頼みます。

今後、また10月にミーティングあるから、そのとき詳しく教えてください。私一番それ心配していますよ。もうデメリットとメリット両方あるから、そこら詳しく。それで、市民が豊かになるなら私賛成ですよ、それ。見たら何か収益の30%が道に入るとかなんだかってあるのだけれども、そこらは詳しくは分からないけれども、よろしく願います。とにかく年金生活で今大変です、私は。はい。

◎市長 まず、海外の資本が入ることについては、今まで日本は法律がなかったとか許されてないので、日本の資本で初めて海外でやったのがセガサミーというのが韓国でやりましたけれども、日本資本ではまだないものですから、海外、ヨーロッパとかアメリカとかアジアの会社が苦小牧にもですね、もし決まれば選んでもらいたいというふうにきています。ただ、そこだけでやるわけではありません。そこに日本の企業がついて、コンソーシアムとか、SPCという特別な会社をつくって、そこが運営母体になりますので、完全に外国資本でやるということにはなりません。必ず日本の法人が入っていく、場合によったら地元の法人も含めて入っていくということになるかと思しますので、アメリカの資本だけでやって、利益が出たらアメリカに取られる。トランプ政権の言いなりじゃないかという人もいるのですけれども、是非、そういう事業の取組の仕組みを考えていただきたいと思えますし、もう一度言いますが、アメリカ資本だけでやるということには、苦小牧の場合にはなりませんので、我々はそういう考え方を持っていないので、是非、御理解をいただきたいと思えますが。

◆市民 資本はいいけれども、元はお金を出して、アメリカ資本がお金を出して日本の企業にやらせる、そういうプランは結構あるわけさ。駄目なら、またぶつと切られちゃうからね。

◎市長 例えば不動産でもですね、苦小牧でも韓国資本が入っていたり中国資本が入って

いたりするケースはありますけれども、そこはですね、一件一件。我々、行政が口出しできる範囲で、民民の取引に我々どうのこうの言えませんが何とも言えませんが、今はそういう時代、ボーダレスの時代だし。だって、日本の企業だってマンハッタンに行って地上げして買ってやっていた時代がバブルのときにはたくさんあってですね、そういう意味で今後どうなるのかは別として、苫小牧モデルに関しては外国資本だけでやるということにはなりませんので。

◆市民 苫小牧でやって収入がいっぱいあればいいけれどもね、みんなが豊かになったらいいけど。

◎市長 それで今の法律では、その事業者の利益のうち3割、15%が国に行きます。15%が都道府県と担当の市に、この割合はどうなるか分かりません。折半になるのかどうなのか分かりません。それが収入として入ってくるのが一つ。もう一つは、土地とか建物等ができる固定資産税が日本の法律に従って入ってきます。あるいはそこに雇用者が発生しますので、そこに勤めている人が住むようになって、アパートを借りるなり家を建てればですね、市民税等々そういう収入が見込めるかと思っています。

ただ、まだ苫小牧で決まったわけではないのであまり余計なことは言えませんが、現在は北海道で3か所が手を挙げていて、北海道自体がまだ意思を表明していないという段階でありますので、フライングした発言はできませんけれども、高橋北海道知事がいつどのような場面で道議会でその意思を表明するかどうか、我々も見守っているところです。

◆市民 今、商工会議所のデータ担当が、岩倉さん、頑張っているからさ、俺心配しているんだ、すごく。

◎市長 頑張ります。

◆市民 はい。

○司会 では、後ろの方。もう時間が大分迫ってまいりましたので、簡潔によりしくお願いします。

◆市民 簡潔に申し上げたいのですが、まず、今、この会場の雰囲気をつかっていたら、なんだかIR反対のような意見がちょっと飛んでいるようですけれども、私は正直言ひまして積極誘致派です。何が根拠かという、この将来の苫小牧の子供たちに夢を与え、この町が英語を話す人がたくさん増えてきて、給料をもらう場所も増えてくる、こんないいこと。夢じゃないですから。何でマイナーな面ばかり言って強調するのかというのが、私、全く理解できない。いや、いろいろな考え方があることは分かります。ただ、私もちょっと今日ここで発言するのは町内会の代表として言っているわけでありません。私の町内会もIRについては相当無関心状況です。それで、むしろ市長さんにはですね、もっと積極的に財界団体の人とか、あるいは青年会議所ですとか、あるいはロータリー、ライオンズですね。私

もライオンズの会長、お友達いますけれども、「お前どうなのだ、話し合っているのか。」と言ったら、「いや、全然そんな話、出てこない。」、「出てこないのではなくて、自分でやれ、反対なら反対でもいい、はっきりしろ。」と。苫小牧にはですね、非常に革新系の考え方が圧倒的に強くて、過去に3つの大変な大きなチャンス逃している。時系列は分かりませんが、1つには千歳川放水路。それから国際熱核融合実験炉。これはフランスに行っちゃったよね。それからもう一つは、ダウ・ケミカルジャパン、これ巨大なアメリカ企業が苫東に進出するときも、結局は公害の問題が云々されてぼしゃっちゃったと。そういう一つのDNAを持っていますので、まず、市長さんとしてはですね、積極的にもっと大いなる場所を設けて、今度は10月とかにありますけれども、それまでとは言わないでも、どんどん堂々と俺は賛成だと前面に出してですね、高橋知事はどうもはっきりしないで困ったものなのですからね、その点で僕はとにかく、私の知識によりますとね、5年ぐらい前に、私は読売新聞ですけれども、全世界のIRの総収入は11兆円とかという話聞いた。これは金額確かであると思います。その点、日本のパチンコは17兆円。先ほど市長さんは法律がなかったから規制できなかったのだというけれども、なぜそんなたくさんの方がパチンコにはまっているのに、法律を作れと動かなかつたのだと僕は言いたいのですよね。だから、そんなこと恐れることない。マイナスばかり言うなど。積極的にプラス思考で前へ進んだらどうかと、僕は常日ごろそう思います。もっと積極的にいろいろな関係団体に働きかけていただきたいと僕は思います。以上です。これは回答は結構です。

○司会 それでは、終了時刻が近づいてまいりましたが、まだ発言されていない方で、これだけはという方いらっしゃいましたら、あとお一人受け付けたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。最後に、真ん中の方。

◆市民 先ほど質問しました[]といいます。ちょっと私の質問の仕方が悪かったから回答が具体的でなかったのかなと思うのですが、私もIRの問題はね、今度、またありますよね。そういったところで具体的な話を聞きたいと思っているのですけれども。いや、医療費の無料化の問題を市としてどういう展望を持ってやろうとしているのかをちょっと聞きたかったのですよ。そのことを言ったのですけれども、さっき市長さんはIRの税収は必要なのだと、それは分かりますよ。だけど具体的にどう分担するか、その医療費の無償化の問題をどういうふうに考えているのかをですね、ちょっと回答なかったのではないかとというふうに私ちょっと思いましたので、お願いしたいと思います。

○司会 医療費の無償化について。

◆市民 子供のです、子供ですね。

○司会 お願いいたします。

◎健康こども部長 健康こども部長の桜田と申します。子供の医療費の無償化についてと

ということです。

現在、先ほどおっしゃっていらっしゃいましたように、就学前までの通院については無料ではないですね、一時負担金がかかります。小学生までの入院についても、そこは課税世帯の方は1割、非課税世帯の方は一時負担金というような形で医療にかかることができます。その他に小児慢性疾患とか、いろいろな疾患のある場合は、道による、国によるそういう医療費の助成制度があります。この医療費の助成制度ですけれども、国に一貫した制度がありません。そのために北海道、都道府県とか市町村がそれぞれのいろいろな施策の優先順位を考えて、自分のできる範囲の中で制度を作って行ってきております。

子供の医療費については、やはりいろいろな御意見がございます。今、これから医療費の助成の拡大につきましても、どのようなことができるかということをしていろいろ子育ての世代の施策がありますので、その優先順位を考えながらそのところは検討させていただきたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

◎司会 それでは、たくさん御意見をいただきましてありがとうございました。予定していた時間となりましたので、これをもちまして当日参加者との市政に関する意見交換を終了させていただきます。

最後に、終了に当たり市長から御挨拶を申し上げます。

◎市長 大変、御熱心な御意見、御質問いただいて誠にありがとうございました。

すみません、先ほど我々が聞こえちゃったのは、僕だけしか分かりませんが、I Rに金使えるのなら子供の医療費にもっと付けろよというようにくだりで聞きましたので、あのような答えになった次第でありまして、もし違ったふうに受けとめられたら申しわけないなど。質問のシナリオ、ストーリーをもう少し変えていただければ、しっかり受けとめさせていただくことができたとと思います。

いろいろ風倒木の問題も出ました。これ、今回の被害の特徴で、今日、札幌とか、今回の日本海側の町の風倒木の状況を見ましたけれども、かなりひどい状況で、道路まで行って、相当道路、交通を遮断しているような町が非常に、大阪とか向こうも含めて多いのが特徴かなというふうに思いました。苫小牧でもありました。風倒木によって車が渋滞してしまう、数は少なかったのですが、何とかこれからの台風が今までとちょっと違う。風の吹き方も雨の降り方も違ってくるのではないかという危惧がありますけれども。しかし、どんな状況があってもしっかりと市民生活に支障のないように対応しなければならないというふうに考えておりますので、お気付きの点があれば、どんどん声を届けていただきたいなというふうに思います。

もう一つ、ごみの問題もいただきました。先ほども言いましたけれども、市民の皆さんの懸命な御協力によって、僕は市長になったときにリサイクル率、10万以上の町で最下位だったのです。それが3年前からトップになりました。30.8%。

それから、ごみの量も1人1日550グラムで目標を作っておりましたが、それを本当に達成していただきまして、2つあった焼却炉が1つで済むようになりました。これによって新しい焼却炉を作ると、どんな小さいものをつくっても二、三十億かかります。年間の維持管理費が2億から3億かかります。これが要らなくなりました。これは非常に市民の皆さんの御協力によって、そういう財源が生まれたという苫小牧の本当にいい事例だと思います。

もう一つは交通です。市営バスが毎年一般会計から5億円つぎ込んでいて、2年で10億、4年で20億つぎ込んでいましたが、これも非常に御案内のとおり大変な赤字でですね、市民の皆さんに結局負担を強いているということになるわけがあります。それを民間に経営移管をさせていただきました。これによって、もちろん高齢者の負担とか等々、1億ぐらいはかかっていますけれども、しかし、それによって子育て支援とか、あるいは他の高齢者対策とかそういう方にいろいろ予算を回してきていくことができます。そうした時代に合わせてスクラップ・アンド・ビルドしなければならないし、民でできるものは民で。そして、本来官でやるべきことで優先順位を付けてしっかり予算措置をしていかなければならない時代というふうに思っておりますので、皆さん方の御意見、さまざまな御意見ありますけれども、その最大公約数をしっかりとってですね、予算措置をしていき、一人でも多くの皆さんに、できれば51%の皆さんに御満足いただければいいのですが、全てが全てそうはいかないと思いますが、一人でも多くの皆さんによくやったと言われるような経営を心がけていかなければならないというふうに考えております。

最後になります。最後までお付き合いいただきましたことを心から御礼を申し上げまして、御挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 それでは、以上をもちまして、まちかどミーティングを終了させていただきます。本日はありがとうございました。